

事業計画書（実績書）

令和5年3月7日

団体名 京都産業大学

<p>事業の目的 （何のために行う事業なのかなど、事業の趣旨や目的を記入してください。）</p>	<p>フィールドワークを通じて地域住民、地域団体、企業等との交流・連携を図りながら、大学生を主体として、課題の設定・可視化と解決策の提示および地域の活性化につながる取り組みと企画を行う。 また、従前取り組んできた事業の検証を行うことによって、今後の事業に向けての課題整理を行う。</p>
<p>事業の名称</p>	<p>京都産業大学むすびわざプロジェクト in あやべ</p>
<p>事業費 （市補助金）</p>	<p>2,042,113 円 （ 655,000 円 ）</p>
<p>補助金の使途 （団体活動のどんな事業経費に補助金が充当されるか記入してください。）</p>	<p>当該事業の実施に係る移動経費、印刷経費など</p>
<p>事業の実施期日</p>	<p>令和4年8月15日～令和5年3月7日</p>
<p>事業の実施場所</p>	<p>綾部市内</p>
<p>事業の概要 （事業の実施方法、内容について記入してください。）</p>	<p>京都産業大学の教員および学生が綾部市をフィールドにして、事業者、地域住民、行政等へのヒアリングや交流を通じて以下の事業を行った。</p> <p><b>【寺崎友芳ゼミ】</b> テーマ「食と農を起点とした地域活性化」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大学の学園祭のイベントで綾部産食材を調理、販売して直接需要を拡大するとともに、綾部産食材の魅力をまとめたチラシの配布による知名度向上とアンケート調査による魅力の可視化を図った。</li> <li>綾部市の特産物の試食会を開催し、知名度を向上させるとともに、アンケート調査を行い綾部の農産物の魅力を可視化することができた。</li> <li>綾部市産食材のレシピ動画を作成し、YouTube で情報発信を行った。</li> <li>動画等を用いて上記の取り組みを紹介し、綾部産食材の魅力を発信した。</li> </ul> <p><b>【松本和明ゼミ】</b> 綾部市役所および市内の企業や団体等へのヒアリング・調査を行い、</p>

	<p>地域産業の現状と課題、歴史・文化の継承状況、各振興策の現況と今後の方向性について学ぶことができた。これらの知見とともに文献・資料等の分析をふまえて、地域資源の利活用を基軸とする活性化プランの作成および情報発信の改善や新たな取り組みの提案を行った。</p> <p>【滋野浩毅ゼミ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代間・地域間交流促進事業として、花を通じた交流イベント、食品ロスをテーマとしたカフェの出店を行った。</li> <li>・郷土愛の醸成事業として、地域の子どもの対象とした地域資源発見事業「綾部こども探偵」、集落住民のインタビュー冊子作成を行った。</li> <li>・地域資源の発掘と再評価事業として、星空ツアーの実施並びに「星空マップ」の作成、「綾部むすびマップ」の作成、地域の食文化調査を行った。</li> <li>・調査研究事業として、集落紹介冊子の作成プロセスと利活用の検証に関する調査、水源の里集落の意識調査、集落における移住促進の取組調査、空き家管理の実態と利用方法の提案に関する調査等を行った。</li> </ul>
<p>補助金の効果（成果） （計画書では期待できる効果を、実績では得られた成果を記入してください。）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・綾部市の関係人口の増加及び「関係人口」としての学生の地域における定着</li> <li>・「若者・よそ者」視点による魅力の再発見等を通じた地域の子どもたちや地域住民の郷土愛の向上</li> <li>・「若者・よそ者」視点による取り組みによる地場産品の拡販</li> <li>・地域住民が気づかない地域資源の発掘と発信</li> <li>・地域内の多世代交流並びに地域間交流の促進</li> <li>・地域課題に対する参加学生の課題解決力、提案力の向上</li> <li>・学生の地域における活動並びに地元メディアや行政広報への頻繁な掲載による大学の地域活動の認知向上</li> <li>・調査研究をまとめることによる政策立案の参考となるデータ（質的・量的双方）の蓄積</li> <li>・社会実験による事業化シーズ作り</li> </ul>

様式第4号（第3条及び第7条関係）

収支予算書（計算書）

令和5年3月7日  
 団体名 京都産業大学  
 （単位：円）

収入の部	区 分	予 算 額	収入済額	明 細
	綾部市補助金	655,000	655,000	
	京都府補助金	655,000	655,000	
	自己負担	732,113	732,113	
	合 計	2,042,113	2,042,113	
支出の部	区 分	予 算 額	支出済額	明 細
	報償費	191,950	191,950	デザイン料、高速バス代
	移動経費	594,370	594,370	旅費、交通費
	使用料および賃借料	93,580	93,580	会場使用料、模擬店用調整機器 レンタル代等
	委託費	80,580	80,580	宿泊代・コーディネート代、貸 切バス代
	諸経費	331,173	331,173	成果物冊子等印刷代、消耗品費、 書籍代、学生保険代等
	その他	18,550	18,550	PCR 検査費、両替手数料
	人件費	731,910	731,910	職員4人
	合 計	2,042,113	2,042,113	
差 引		0	0	